

令和5年5月31日（通巻第218号）

ボウルズ・ジャパン ブリテン

発行元：認定 NPO 法人ローンボウルズ日本 総務部

一般情報など

(1) ルールブック第4版に関する World Bowls からの修正連絡について

3月31日発行のBJブリテン（第216号）で解説した規則37.1.3および37.1.5.3について、
一旦 削除するという通達が World Bowls から来ましたので皆様に報告します。
復習いたしますと、この規則は次のようなものでした。すなわち、

以下に記す不正行為をしたチームは、ただちにゲームを没収され不戦敗となる。

37.1.3 マットから投球されてオリジナルコースを走行中のボウルを、走行途中で味方選手が意図的に方向をずらしたり停止させたりという不正行為をした場合。

37.1.5.3 マットから投球されてオリジナルコースを走行中のボウルの途中で、走行の邪魔になるように停止しているボウルを味方選手が持ち上げて走行ボウルを通過させるという意図的な不正行為をした場合。

これらの追加規則に対して多数の異議が寄せられたため、一旦削除して再検討するというもの

です。寄せられた異議の内容としては主に次のようなものであったということです。

- 1) 味方選手がこれらの行為をしたのを罰するだけというのは合理的でない。相手チームの選手が意図的に不正を犯した場合も同一基準で罰しないのはおかしい。
- 2) ただちに不戦敗にするというのは罰として重すぎる。不戦敗処理というのは大会主管当局にも混乱を生じさせる。例えば、総得点を半分に減らしてゲームとしては成立させるというような罰で検討すべきである。 等々

従って、これらの行為があった場合は、新しい規則が決まるまでの当分の間はこれまでの規則に従って処理してください、とのことです。

(2) 新入会員紹介

5月16日付けでYC&ACにRussell Brownさんが新しく入会されました。

2023年4月の行事、活動などの結果

(1) ワールドボウルズ・インドア選手権大会（5月5日～14日オーストラリア・ワリラで開催）

日本代表は川本真浩（LB高知UC、2022年度シングルス日本選手権大会3位）、合田洋子（神

戸学園ワイズ、2022 年度シングルス日本選手権大会 2 位) の 2 選手が出場したが、次の通りの結果であった。

種目	競技概要	予選、決勝の方式	日本選手の結果
男子 シ ン グ ル ス	一人 4 球× 7 エンド× 2 セット戦。 セット数が 引分けの場 合は、1 エン ドのタイ・ブ レークで勝 者を決める。	36 カ国(36 人)の選手を 6 人ずつ、 6 セクションに分けてセクション内で総当 り戦 (一人 5 ゲーム) を戦う。 セクション内の 1, 2 位の 12 名と 3 位の うちの 4 名の合計 16 名が決勝戦 (勝ち抜き方式) に進む。	オランダ、ウェールズ、ノースアイルランドの 3 カ 国 にはタイ・ブレークにまで行って敗 れるという惜しい接戦であったが、 残りのフォークアイランド、ガーンジー島に も 敗れてセクション最下位となった。アジ ア 勢で決勝に進んだのはマレーシア、タイの 2 カ国のみであった。
女子 シ ン グ ル ス		30 カ国(30 人)の選手を 5 人ずつ、 6 セクションに分けてセクション内で総当 り戦 (一人 4 ゲーム) を戦う。 セクション内の 1, 2 位の 12 名と 3 位の うちの 4 名の合計 16 名が決勝戦 (勝ち抜き方式) に進む。	ボツナ、ジャージーに勝ち、マルタ島、スコット ランドに敗れる 2 勝 2 敗でセクション内 3 位 で あったが、得失セット数差でベスト 16 に入り、めでたく決勝進出を果た した。決勝 1 回戦でイングランドに 9:1, 7:5 で敗れベスト 8 は成らなかつ た。アジア勢で決勝に進んだのはマ レーシア、タイ、香港、日本の 4 カ国であつ た。
混合 ペ ア ー ズ	一人 3 球× 7 エンド× 2 セット戦。 タイ・ブレー クは上と同 じ。	40 カ国(40 チーム)を 5 チームずつ、8 セ クションに分けてセクション内で総当たり戦 (1 チーム 4 ゲーム) を戦う。 セクション内の 1 位のみ 8 チームが 決勝戦 (勝ち抜き方式) に進む。	勝ちは大リーグ 3:2, 3:3、ケニア 6:0, 16:1、 ジャマイカ 0:9, 8:1, 1:0。 負けはウェールズ 2:11, 1:7 の 3 勝 1 敗 で セクション内 2 位であったが、1 位のウェ ールズ (4 戦全勝) のみがベスト 8 の決勝 に進出。惜しかった。



混合ペアーズ戦で対戦相手と記念撮影する
合田洋子選手、川本真浩選手

(2) BJ 理事連絡会 (Zoom Web 会議) 令和 5 年度 (第 1 回) 開催

日時 : 5 月 20 日 (土) 20:00~22:00

場所 : Zoom による Web 会議

参加者 : 2023/2024 年度理事 関東 5 名、関西 12 名、オーストラリア 1 名以上合計 18 名

オブザーバー 依田監事、伊藤関東協会事務局長、

坂本技術・競技部副部長、森総務部副部長 以上 4 名

欠席 関東 2 名、関西 1 名、外部理事 4 名 以上合計 7 名

議事 :

- 1) 参加者全員が一人あたり 1~2 分で自己紹介・近況報告を行った。新任者が多いのでお互いの顔と名前等々を知らせ合う事で、今後の活動に有効となった。(20:00~20:30)
- 2) 「広報部」「次世代開発部」の進め方について吉中副理事長(広報部長、次世代開発部グループリーダー)から報告がされ、意見交換を持った。(20:30~21:00)
 - (1) 「広報部」および「次世代開発部」の第 1 回部内会議の日程を決めた。
 - (2) BJ のバリュー、ビジョン、ミッションを対外的に広報するためのチラシ作成について吉中理事から提案があり意見交換した。また動画作成についても提案がされた。誰に対して何を目的として見せるチラシ、あるいは動画であるかによって作成内容も違ってくるので、多数の意見が出たが簡単にはまとまらず、もう少し時間をかけて協議し、まとめることにした。
 - (3) 日本レクリエーション協会が新しく企画している「スポーツ・レクリエーション指導者養成カリキュラム」にローンボウルズも含めてもらい、その教科書に掲載する資料作成(期限は 11 月末)に取り組むことについても報告された。
- 3) 「2023/2024 年度選手選考委員会」のメンバー発表および「委員会の今後の活動スケジュール」について松岡国際部長、坂本技術・競技部副部長から報告がされ、意見交換を持った。(21:00~21:45)
 - (1) メンバーは次の通りで承認された。

松原敬之(副理事長)、松岡 緑(国際部長)、廣内鐵也(技術・競技部長)
Alex Hendy(元理事、YC&AC)、小山潤(元理事、LC 京都)、前林典子(理事、神戸ボウルズ)、合田純二(元理事、学園ワイズ) 以上 7 名
および選考委員会事務局として坂本紘一技術・競技部副部長
 - (2) 今後のスケジュールについて事前配布の資料にもとずき報告がされ、その後意見交換に入ったが、これについても多くの意見が出された。主な主張点は次の意見に集約された。すなわち、「選手選考基準は出来るだけシンプルで客観的に数値化されるのが良い。」「強化訓練制度への参加はいろいろ制約があるので選手選考の前提からは外してはどうか。」。これに対しては、前者については全く同感でそのように努力していくが、後者については強いチームを作るには強化訓練は外せないのも、制約があることについては出来る範囲で取り組めるように配慮することで進める、と説明され、まずは進めて行くことで了解された。

4)「明石公園グリーン改修の嘆願署名運動」への協力依頼について児島理事長から説明があった。要点としては、6月末までに全国から2,000名ほどの署名を集めることを目標とする、であった。(21:00～21:45)

(3) BJ 広報部 部内ミーティング第1回開催

日時：5月22日(月) 20:00～21:00

場所：ZoomによるWeb会議

参加者：吉中康子部長、前林典子副部长、津山元子、梅田和彦(以上YC&AC)、アラン・マジエリッソ(LC京都)、大平貴士(オーストラリアクラブ) オブザーバー：森総務部副部长

議事：今後の広報の進め方についてフリー討議し、アイデアを出し合った。

SNSを活用して外部への情報発信の頻度をもっとあげよう。BJのホームページの場をもっと活用しよう。などの意見が出された。

(4) BJ 次世代開発部 部内ミーティング第1回開催

日時：5月26日(金) 20:00～21:00

場所：ZoomによるWeb会議

参加者：チームリーダー：吉中康子副理事長、松原敬之副理事長、合田洋子(学園)、関口溜(ALBC)

メンバー：黒沢秀行(LB東京)、高山紗生(東京LBC)、川本真浩(LB高知UC)、

小林綾子(ALBC)、井上千加子(タッチャーズ)

オブザーバー：森総務部副部长

(欠席) 村瀬康(YLBC)、小林信芳(日栄ローンボウルズ)、倉本宣史(甲南ローンボウルズ)

議事：今後の次世代開発の進め方についてフリー討議し、アイデアを出し合った。

重点実施項目を絞ろう。大学への広報をはかろう。そのためのチラシ、ビデオを作ろう。地方をターゲットにして地域開発ムーブメントに乗せたらどうか。U-25大会は開催しよう。などの方向が出された。第2回ミーティングは、これらを更に具体化することを打ち合わせる事にして6月23日(金) 20:00～に開催する。

(5) 男女フリートリプルズ関東選手権大会兼日本選手権大会関東地区予選会

主催：関東ローンボウルズ協会 主管：東京地区クラブ

場所：立川昭和記念公園ローンボウルズグリーン

日時：5月14日(日) 9時～15時30分

参加チーム数：7チーム

競技方式：予選ラウンド決勝ラウンド共に一人3球×8エンド戦(75分の時間制限付き)

予選ラウンドは抽選で4チームと3チームの2ブロックに分かれ、総当たり戦を行う。

決勝ラウンドは、予選ラウンド各ブロック1位チーム同士で優勝決定戦、2位チーム同士で3位決定戦、3位チーム同士で5位決定戦を行う。

予選ラウンド結果：

Δ = 総得失点差

	A グループ	B グループ
--	--------	--------

順位	クラブ名	選手名	成績	クラブ名	選手名	成績
1位	LB 東京 B	江村裕子 黒沢秀行 江村健一 (中村克彦)	3勝0敗 Δ = +15	YC&AC B	Motoko Tsuyama Hideaki Ando Toshiaki Arai	1勝1敗 Δ = +10
2位	YC&AC A	Hiroko Kojima Toshi Kurosawa Shigemitsu Itoh	1勝2敗 Δ = +2	東京 LBC 日栄 LBC	小林信芳 松原和子 松原敬之	1勝1敗 Δ = +-0
3位	YLBC	一瀬民子 村瀬康 依田成史	1勝2敗 Δ = -8	LB 東京 A	松本幸雄 大沢佳子 Eric Corson	1勝1敗 Δ = -10
4位	東京 LBC	小林麻衣子 田中希望 高山紗生	1勝2敗 Δ = -9			

決勝ラウンド結果：下記の上位3チームが本選出場権を得た。

1位 LB 東京 B 江村裕子、江村健一、黒沢秀行 (中村克彦)

2位 YC&AC B Motoko Tsuyama、Hideaki Ando、Toshiaki Arai

3位 YC&AC A Hiroko Kojima、Toshi Kurosawa、Shigemitsu Itoh

〈4位〉 東京 LBC&日栄 LBC

小林信芳、松原和子、松原敬之

〈5位〉 LB 東京 A

〈6位〉 YLBC

〈7位〉 東京 LBC



(6) 男女フリー・トリプルズ関西選手権大会 兼 日本選手権大会関西予選会

主催：関西ローンボウルズ協会

場所：明石市明石公園ローンボウルズグリーン

日時：5月20日(土)9:00-17:00

参加チーム数：12チーム

競技方式：予選ラウンド、決勝ラウンド共に一人3球×8エンド戦(65分の時間制限付き)

予選ラウンドは抽選で4チームずつ3ブロックに分かれ、総当たり戦を行う。

決勝ラウンドは、予選ラウンド各ブロック1位チームとおよび2位チームのうちの最上位チームの合計4チームによる勝ち抜き戦で準決勝、決勝戦を実施。以下のチームについても同じ方式で順位決定を実施。

予選ラウンド結果：

Δ = 総得失点差

順位	A グループ		B グループ		C グループ	
	(クラブ名) 選手名	成績	(クラブ名) 選手名	成績	(クラブ名) 選手名	成績
1 位	(LC 京都 C) 吉中康子 田町智之 小山 潤	3 勝 0 敗	(神戸ホウルズ [®] B) 小野叶子 青木哲夫 前林典子	3 勝 0 敗	(神戸ホウルズ [®] A) 山根英輝 大杉正樹 宮北茂	3 勝 0 敗
2 位	(ALBC-B) 小林綾子 垣内紀子 西條和子	2 勝 1 敗 Δ = +13	(兵庫車いす) 川村信子 八杉 瞳 藤川辰美	2 勝 1 敗 Δ = +2	(LC 京都 B) 田中まち子 阿比留さゆり 井上博樹	2 勝 1 敗 Δ = +2
3 位	(タッチヤーズ [®] B) 田中弘一 野上哲男 野上京子	1 勝 2 敗	(LC 京都 A) 永野加波 永野夕海 島 美里	1 勝 2 敗	(ALBC-D) 山崎清子 奥谷和子 垣内元治郎	1 勝 2 敗
4 位	(ALBC-A) 関口伸子 檜垣英男 藤崎政和	0 勝 3 敗	(ALBC-C) 福井加代子 旭 吉功 奥田 昭	0 勝 3 敗	(タッチヤーズ [®] A) 井上千加子 児玉智子 中田照男	0 勝 3 敗

決勝トーナメントの結果：

区 分	結 果	最 終 順 位
準決勝	準決勝 1 ○LC 京都 C 11 : 5 ×神戸ホウルズ [®] B	優勝 : 神戸ホウルズ [®] A 準優勝 : LC 京都 C
	準決勝 2 ○神戸ホウルズ [®] A 9 : 6 ×ALBC-B	
決勝	決勝戦 ○神戸ホウルズ [®] A 7 : 5 ×LC 京都 C	第 3 位 : ALBC-B
	3 位決定戦 ○ALBC-B 14 : 3 ×神戸ホウルズ [®] B	第 4 位 : 神戸ホウルズ [®] B

第 5 位 : 兵庫車いす 第 6 位 : LC 京都 B 第 7 位 : タッチヤーズ[®] B 第 8 位 : LC 京都 A
本戦大会 (9 月 9 日、10 日 しあわせの村) に出場できるのは 4 位まで。

(7) 明石公園ジュニア・ローンボウルズ教室 (第 7 回目) を開講

日時 : 5 月 21 日 (日) 9:30~10:30

場所 : 明石公園ローンボウルズ場管理詰所

実施内容 : 9:30~11:00 基本練習 ジャックの距離調整

ボウルの距離調整

11:00～12:00 ミニゲーム（トリプルズ戦、一人4球×4エンド）

参加者：受講生6名（小学生4名、中学生2名）および保護者2名

指導者：6名（森、長島、奥田、関口、前林、小林）

記事：小学生、中学生だけによる初めてのミニゲームであったが、ゲーム前後の挨拶やスコアカードの記入、ヘッド側とマット側のコミュニケーション（チームワーク）も含めて一通り本式のゲーム通りに実行することが出来た。

ゲーム内容もかなりまとまっており、エキサイティングであった。

(8) Aリーグカップ2023年前期大会（第9, 10節）

主催：関西ローンボウルズ協会

主管：Aリーグ実行委員会

場所：明石公園ローンボウルズグリーン

日時：5月14日（日）、21日（日）13:00～16:00 14日は雨天中止。

結果：5月21日（日）第10節終了後の成績

	A-1 リーグ	A-2 リーグ
1位	西條和子（ALBC） 109点	南川義和（学園ワイズ） 78点
2位	魚住弘治（兵庫車椅子） 102点	野上京子（神戸タッチャーズ）、垣内元治郎（ALBC） 合田 洋子（学園ワイズ） 77点
3位	長島俊和（ALBC） 98.5点	宮北 茂（神戸ボウルズ） 76点

(9) SVリーグ2023年度前期大会（第3, 4節）結果

主催：関西LB協会 SVリーグ実行委員会

リーダー：LC京都、会計：兵庫車いす、記録：神戸タッチャーズ

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：5月13日（土）、27日（土）13:00～16:00 13日は雨天により1ゲームのみ実施。

競技結果：5月27日終了時点での成績。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
チーム名	学園-A	学園-B	兵庫車椅子A	タッチャーズC	LC京都	タッチャーズA	タッチャーズB	兵庫車椅子B	ALBC	村人クラブ
勝点	18	15	13	12	10	10	7	6	6	6
得失点差	+41	-1	+19	+0	+14	+3	+2	-18	-25	-35
得点合計	79	52	64	53	68	58	57	44	54	40

(10) Mリーグ2023年度前期大会（第3, 4節）結果

主催：関西LB協会 主管：Mリーグ実行委員会

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：5月10日（水）、24日（水）13:00～16:00

競技結果：5月24日終了時点での成績（出席率 70% 以上が対象）

順位	氏名	平均ポイント	ポイント合計	出場試合数
1位	野上京子（神戸タッチャーズ）	7.333	44.0	6
2位	宮北茂（神戸ボウルズ）	6.417	38.5	6
3位	小野宙司（無所属）	6.333	38.0	6

（11）R5年度JPCインテグリティ研修会（競技パートナー、コーチ、監督等のスタッフ向け）

主催：JPC（日本パラリンピック委員会）

開催日：2023年5月26日（金）18時～19時、zoomによるリモート会議にて

テーマおよび講師：スポーツ団体におけるハラスメント対策 by 小塩弁護士

受講者：各団体から218名が受講、BJからは児島理事長、森 紘一、森 弘子の3名

内容：日本スポーツ協会調査によれば中央競技団体の約3割において選手からのパワハラ、セクハラ被害の申し立てが発生しているとの事で、その実例の紹介と、競技パートナー、コーチ、監督等のスタッフが気をつけるべきポイントが解説された。

2023年6月、7月の計画、予定

（1）BJ理事連絡会（Zoom Web会議）令和5年度（第2回,3回）開催

日時：6月24日（土）、7月15日（土）20：00～21：30

場所：ZoomによるWeb会議

参加者：2023/2024年度理事会メンバー、オブザーバーも歓迎

内容：追って連絡

（2）女子ペアーズ関東選手権大会兼日本選手権大会関東地区予選会

主催：関東ローンボウルズ協会

場所：立川市昭和記念公園ローンボウルズ場

日時：6月3日（土）

（3）男女フリー・フォアーズ関東選手権大会兼日本選手権大会関東地区予選会

主催：関東ローンボウルズ協会

場所：横浜市YC&ACローンボウルズ場

日時：6月11日（日）

（4）女子シングルス関東選手権大会兼日本選手権大会関東地区予選会

主催：関東ローンボウルズ協会

場所：立川市昭和記念公園ローンボウルズ場

日時：6月25日（日）

（5）関西マスターズゲームズ2023ローンボウルズ大会

男女シングルス種目関西地区選手権大会兼日本選手権大会関西予選会

主催：関西ローンボウルズ協会

共催：関西広域連合、兵庫県、関西マスターズゲームズ実行委員会

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：男子 6月3日（土）、女子 6月4日（土）

競技方式：一人4球×12エンド戦（ただし65分の時間制限付き）を1人5ゲーム行う。
5ゲーム合計の勝ちポイント、総得失点差、総得失点比率の大きい順にて
総合順位を決定する。

(6) Aリーグカップ2023年前期大会(第9,10,11,12節)

主催：関西ローンボウルズ協会 主管：Aリーグ実行委員会

場所：明石公園ローンボウルズグリーン

日時：6月11日（日）、18日（日）13:00～16:00、

7月2日（日）、16日（日）9:00～12:00

参加申込み：誰でも参加できます。参加希望者は当日30分前までに来場し受付に申出る。

(7) SVリーグ2023年度 前期大会(第5,6,7,8節)

主催：関西LB協会

主管：SVリーグ実行委員会

LC京都クラブ、神戸タッチャーズ、兵庫車いすクラブが担当

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：6月17日（土）、24日（土）13:00～16:00（12時45分までに受付完了のこと）、

7月8日（土）、22日（土）9:00～12:00（8時45分までに受付完了のこと）

競技内容：10チームが参加し、ペアーズ戦を2ゲーム行う。

(8) Mリーグ2023年度 前期大会（第5,6,7,8節）

主催：関西LB協会

主管：Mリーグ実行委員会

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：6月7日（水）、28日（水）13:00～16:00（12時45分までに受付完了のこと）、

7月12日（水）、29日（土）9:00～12:00（8時45分までに受付完了のこと）

競技内容：チーム編成は当日の抽選にて決定。参加人数によりペアーズ、トリプルズ、
フォアーズ戦を行う。8エンド戦を2ゲーム行う。

参加申込み：事前申込みは不要。当日、会場への来場で可。チーム編成は当日の抽選にて決定。

(9) 明石公園ジュニア・ローンボウルズ教室（第8回、9回）を開講予定

日時：6月18日（日）、7月23日（日）9:30～12:00

場所：明石公園ローンボウルズ場

実施内容：9:30～10:00 座学

10:00～12:00 実技

(10) 明石市中央体育館インドアマット交流大会

主催：明石市ローンボウルズ協会

場所：明石市中央体育会館第1競技場（2リンク）

日時：6月12日（月）9:00～17:00

参加募集人員：フォアーズ6チーム（24人）

一人2球x8エンド戦を4ゲーム実施

(11) 障がい者ファミリー大会

主催：兵庫車いすクラブ

場所：神戸市しあわせの村

日時：6月11日（日）9:00～17:00

(12) 第36回こうべ長寿祭ローンボウルズ大会

主催：神戸市しあわせの村

主管：関西ローンボウルズ協会

場所：神戸市しあわせの村

日時：6月14日（水）9:00～17:00

競技種目：男女フリー・ペアーズ

参加資格：60才以上の神戸市民

(13) 男女フリー・フォアーズ関西選手権大会 兼 日本選手権大会関西地区予選会

主催：関西ローンボウルズ協会

場所：明石公園ローンボウルズ場

日時：7月1日（土）

(14) 男子シングルス関東選手権大会 兼 日本選手権大会関東地区予選会

主催：関東ローンボウルズ協会

場所：YC&AC ローンボウルズ場

日時：7月9日（土）

(15) 第1回京都シャンティ杯インドア・ローンボウルズ大会

主催：株式会社シャンティ

主管：関西ローンボウルズ協会、LC 京都

場所：京都市右京区京北周山町

旧京北第一小学校体育館内カーペット・ローンボウルズ場

日時：7月9日（日）8:45～17:00

種目：男女不問ペアーズ戦、一人3球×4エンド×2セット制、セット結果が引き分けの場合は1エンドのタイブレーク戦（これは、一人2球のトリプルズ戦とする）を行う。

1チームは3人で構成し、1セット内で必ず選手交代を実施し3人の選手がすべて2エンド以上プレーすることを条件とする。

競技方式：9チームを募集する。予選ラウンド（午前中）は3チームずつ3グループに分けて、グループ内の総当たり戦を行う。決勝ラウンド（午後）は予選結果の1位グループ、2位グループ、3位グループの3グループにてグループ内の総当たり戦を行う。順位付けは、①勝ゲーム数、②獲得セット数。③得失点差、による。

会員からの投稿

2023 World Bowls Indoor Championships 出場記

ローンボウルズ高知 UC 川本真浩

2023年5月7～12日の6日間、オーストラリア、ニューサウスウェールズ州にあるワリラ・ボウルズ&レクリエーション・クラブ（以下、「WBRC」と略記。）で開催された標記大会に、合田洋子さんとともに日本代表として出場しました。ローンボウルズの世界選手権のほか、オリンピック、コモンウェルスゲームズ、他競技の世界選手権やワールドカップなど、これまで数多くの大会を現地観戦してきましたが、日本代表となるのは初めてであり、「こんな幸運は人生で初めて最後かもしれない」という気持ちで大会に臨みました。

大会出場にあたって私が設けた目標は2つ、（1）シングルス戦で日本在住の代表選手として最善の成績を残す事、（2）ペアーズ戦で洋子さんがベストの力を出せるようなゲーム環境を作る事、でした。

プレーに関する客観的かつ精緻な分析はコーチ合田純二さんそしてBJ技術競技部でおこなわれると思いますので、ここでは私個人の視点から大会についてお伝えします。

まず大会初日におこなわれたペアーズ戦予選4試合、5エンド2セット制（タイブレークは1エンド）という、体験したことのないゲーム・フォーマットです。スリランカ戦、ケニア戦、ウェールズ戦の3試合は私がスキップ、最後のジャマイカ+豪州若手戦は私がリードを務めました。最初のスリランカ戦は～相手はその前日と前々日に日本と対戦する第1リンクでずっと練習していました～セットカウント3-2、3-3の1勝1分という接戦でしたが、私にとって代表戦初戦を勝つことができ気分的に落ち着きました。ケニア戦はたちあがり少し難儀したものの結果的には相手に1点しかとらせず完勝。第3試合の対戦相手ウェールズはもちろん世界トップクラスですが、こちらもそこそこ好調であったものの相手がそれを上回る正確さで合わせてきて、2セットとられて完敗でした。最後のジャマイカ+豪州若手戦は、投順を入れ替えたのが奏功し、タイブレークではスキップ洋子さんの正確な投球で優位にたって勝ちました（余談～そんなに複雑なヘッドじゃないのに相手コーチがとても険しい表情で若手選手に指示している様子は、私にとって格好の「反面教師」でした）。全体的にペアーズ戦は、洋子さんがしっかり形をつくって私がいくらかそれをカバーしサポートする、という体裁で3勝できました。

翌月曜から水曜に行なわれたシングルス戦（7エンド2セット制、タイブレークは1エンド）に臨むうえで、初日のペアーズ戦は大きな後押しになりました。3勝したこともさることながら～正直それは洋子さんのおかげだと思っていたので～むしろ日本には無い類の室内カーペットグリーン、そして「海外選手と対戦すること」に慣れたのが大きかったと思います。さらに、あくまで想像ですが、ペアーズ戦3勝が、「この男子日本代表は何者？」というふうに関心の心理に何かしら影響したかもしれない。そのせいかどうかわかりませんが、月曜火曜の3試合はすべて1セットとってタイブレークにもちこみました。結局3戦とも負けましたが、自分にとっては望外の結果でした（せめて1つぐらい勝たないとダメですね）。水曜2試合は勝負弱さが顕著に出て1セットもとれず、最終的に5戦全敗でした。

自身初の日本代表としての9試合はこのように終わりました。2つの目標を達成することはできたのか？（1）は5戦全敗ですからダメ、（2）は私が洋子さんにとってのベストの状況をつくるどころか、むしろ洋子さんが私にとってのベストの状況を巧みに整えてくださったように思うので、これもダメ、でした。お恥ずかしいばかりです。

目標は達せられなかったにしても、国内試合では得がたい経験、成果、思いを得られたのは確かです。所詮「負けは負け」ですが、自分としては「現在の力量から考えたらベストを尽くせたに近い」と考えています。自分の課題をつかんで試合中に改善を試みることも一定程度できました。強豪ウェールズに対して、タイブレークまでもちこみ、その2球目でT点のジャックにトレールショットをとるなど、「他国代表とまともな形で対戦できた」のは、今後に向けた自信と積極的な気持ちにもつながりました。

何よりも大きな収穫は、「ローンボウルズ場のない高知でも海外でプレーする力を養える」「（現に私よりも上手い・才能あるメンバーがいることから）高知から海外選手と真っ当に対戦できる選手を出すことができる」という思いでした。洋子さんに引っ張り上げてもらったとはいえ、またシングルス戦全敗とはいえ、それなりに「手ごたえ」がありました。「うちは国内外すべてアウェーだから、アウェーで勝てるようになろう」と言い続けてきたのも間違っていないぞと実感しました。ボウルズ場が地元になくても、地の利の「無さ」を逆手にとった思考と工夫、地道な努力、そしてときどき出かけるローンボウルズ場での経験を組み合わせることで、展望は開けていると思います。

グリーンの外でも思わぬ収穫がありました。ひとつは、宿舎で同室になったセシル・アレクサンダー選手（南アフリカ出身のフォークランド諸島代表）といろんな話ができるという、（本業）イギリス帝国＝コモンウェルス史研究者として望外の幸運に恵まれました。きさくに話かけてくれて適切な気配りもしてくれた彼は、「2027年ワールドマスターズゲームズに行くよ」とも言ってました。さらに～これも洋子さんに感謝!!～大会最終日の懇親会場で、女子シングルスで2連覇を達成したジュリー・フォレスト選手（スコットランド）、そしてアリソン夫人と組んでペアーズ3位にはいったイアン・メリエン選手（ガーンジー）と話す機会を得ました。長くなるので記しませんが、この著名な2選手からは、教育・研究・学術活動の一環として大学でローンボウルズに取り組むうえでの大きなヒントを得ることができました。そのほか、今年3月に英国「弾丸」出張した際にノーアポで立ち寄ったグラスゴー・インドアBCでロールアップさせてくれたゴードン・ウッズ氏とも再会しました。彼は大会運営スタッフとして駆けずり回っていて、試合開始時刻の変更など丁寧に伝えてくれました。

最後になりましたが、私の大会参加に際してお世話になった森絃一様はじめB J 執行部の皆様、現地で応援して下さった松岡緑様と佐藤様ご夫妻、WBRC の屋内グリーン情報を送って下さった長谷部健太様、そのほか応援して下さった国内外のボウلز愛好者の方々、そして何よりも「無遠慮にあれこれごちゃごちゃ言うカワモト」を寛大な心で受け入れて下さった合田洋子様とコーチの合田純二様に、心より御礼申し上げます。

このあと高知から続々と若手が国内外で挑戦していきます。私も彼ら彼女らとともに挑戦しつづけます。ローンボウلز高知UCをどうぞよろしく願いいたします。

(以上)



シングルス戦で投球する川本選手 (World Bowls facebook より転載)